

第9回 織田信長と豊臣秀吉による天下統一（＝全国統一）

§1 鉄砲とキリスト教の伝来

日本が戦国時代の頃、ヨーロッパでは貿易とキリスト教布教を目的とした大航海時代に入り、16世紀中頃には日本にもヨーロッパ人が訪れるようになった。1543年には南九州の種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲が伝えられた。鉄砲は戦国大名の注目をあつめ、戦い方を大きく変化させた。また、1549年にはフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。キリスト教信者はキリシタンと呼ばれ、大名の中にはキリスト教信者となり、キリシタン大名と呼ばれる者も出てきた。

§2 織田信長と豊臣秀吉による天下統一

16世紀後半には、各地の戦国大名の中から全国を統一しようとする者が出てきた。尾張（愛知県）の織田信長は、桶狭間の戦いで、有力な戦国大名の今川義元を破り、京都に上洛して足利義昭を将軍にした。その後、足利義昭と対立して京都から追放し、室町幕府を滅ぼした。信長は敵対的な寺社勢力に対抗するためにキリスト教を保護した。また、経済力を強めるため城下町での閑所の廃止や楽市・楽座をすすめ、商人が自由に通行・営業できるようにした。早くから鉄砲に注目した信長は強大な鉄砲隊の威力で武田氏を滅ぼし、天下統一目前だったが、家臣の明智光秀に攻められて敗死した（本能寺の変）。

信長の事業を引き継いだのが家臣の豊臣秀吉だった。秀吉は大阪城を築き、1590年に全国の大名を服従させて全国統一をなしとげた。秀吉は全国の土地の面積や収穫量を同一基準で調べ、検地帳に耕作者名とともに登録した。それを太閤検地という。また、一揆を起こす原因になるとして農民などから武器を取りあげる刀狩もおこなった。太閤検地と刀狩によって兵農分離がすすみ、身分と職業を固定する身分制度が確立されていくことになった。

秀吉は、はじめキリスト教の布教を認めていた。しかし、キリスト教の教えが天下統一の妨げになると考え、1587年にキリスト教宣教師の国外追放を命令し、布教を禁止した。また秀吉は、全国統一を実現した頃から明（中国）の征服を計画するようになった。そのために、まず朝鮮に対して服従と明への先導を求めたが断られ、二度にわたって朝鮮への出兵をおこなった（文禄の役、慶長の役）。しかし、朝鮮民衆による激しい抵抗と明からの援軍などによって苦戦を強いられ、1598年の秀吉の死とともに全軍は撤兵した。

第9回 織田信長と豊臣秀吉による天下統一 (= 全国統一)

§1 鉄砲とキリスト教の伝来

日本が戦国時代の頃、ヨーロッパでは貿易とキリスト教布教を目的とした大航海時代に入り、16世紀中頃には日本にもヨーロッパ人が訪れるようになった。1543年には南九州の種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲が伝えられた。鉄砲は戦国大名の注目をあつめ、戦い方を大きく変化させた。また、1549年にはフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。キリスト教信者はキリシタンと呼ばれ、大名の中にはキリスト教信者となり、キリシタン大名と呼ばれる者も出てきた。

§2 織田信長と豊臣秀吉による天下統一

16世紀後半には、各地の戦国大名の中から全国を統一しようとする者が出てきた。尾張(愛知県)の織田信長は、桶狭間の戦いで、有力な戦国大名の今川義元を破り、京都に上洛して足利義昭を将軍にした。その後、足利義昭と対立して京都から追放し、室町幕府を滅ぼした。信長は敵対的な寺社勢力に対抗するためにキリスト教を保護した。また、経済力を強めるため城下町での関所の廃止や楽市・楽座をすすめ、商人が自由に通行・営業できるようにした。早くから鉄砲に注目した信長は強大な鉄砲隊の威力で武田氏を滅ぼし、天下統一目前だったが、家臣の明智光秀に攻められて敗死した(本能寺の変)。

信長の事業を引き継いだのが家臣の豊臣秀吉だった。秀吉は大阪城を築き、1590年に全国の大名を服従させて全国統一をなしとげた。秀吉は全国の土地の面積や収穫量を同一基準で調べ、検地帳に耕作者名とともに登録した。それを太閤検地という。また、一揆を起こす原因になるとして農民などから武器を取りあげる刀狩もおこなった。太閤検地と刀狩によって兵農分離がすすみ、身分と職業を固定する身分制度が確立されていくことになった。

秀吉は、はじめキリスト教の布教を認めていた。しかし、キリスト教の教えが天下統一の妨げになると考え、1587年にキリスト教宣教師の国外追放を命令し、布教を禁止した。また秀吉は、全国統一を実現した頃から明(中国)の征服を計画するようになった。そのために、まず朝鮮に対して服従と明への先導を求めたが断られ、二度にわたって朝鮮への出兵をおこなった(文禄の役、慶長の役)。しかし、朝鮮民衆による激しい抵抗と明からの援軍などによって苦戦を強いられ、1598年の秀吉の死とともに全軍は撤兵した。

Part 9: Unification of Japan (= unification of the whole country) by Oda Nobunaga and Toyotomi Hideyoshi

§ 1 Introduction of guns and Christianity

During the Warring States Period in Japan, Europe entered the **Age of Exploration**(大航海時代 “Dai Kokai Jidai”) for the purpose of trade and Christian missionary work, and Europeans began to visit Japan in the mid-16th century. 1543 saw the introduction of guns by the Portuguese who drifted ashore on **Tanegashima Island**(種子島) in southern Kyushu. Guns attracted the attention of warring feudal lords and greatly changed the way of warfare. Christianity was also introduced by **Francisco Xavier**(フランシスコ・ザビエル) in 1549. Christian believers were called Kirishitan, and some feudal lords became Christian believers and were called “Kirishitan Daimyo” .

§ 2 Unification of Japan by Oda Nobunaga and Toyotomi Hideyoshi

In the latter half of the 16th century, some of the warring feudal lords from various regions attempted to unify the nation. **Oda Nobunaga**(織田信長) of Owari (Aichi Prefecture) defeated the powerful warlord Imagawa Yoshimoto in the Battle of Okehazama, and moved to Kyoto to make Ashikaga Yoshiaki shogun. He then destroyed the Muromachi Shogunate by confronting Ashikaga Yoshiaki and expelling him from Kyoto. Nobunaga protected Christianity to counter hostile temple and shrine forces, and to strengthen his economic power, he abolished barrier posts in castle towns and promoted **raku-ichi and raku-za**(楽市楽座), allowing merchants to pass through and operate freely. Nobunaga, who paid attention to guns from early on, destroyed the Takeda clan with the power of his powerful guns and was on the verge of unifying the country, but was defeated by his vassal, Akechi Mitsuhide (**the Honnoji Incident**(本能寺の変” Honnoji no Hen”)).

Nobunaga's Unification was taken over by his vassal, **Toyotomi Hideyoshi**(豊臣秀吉). Hideyoshi built Osaka Castle, and in 1590 he subjugated all the feudal lords in Japan and achieved **unification of the country**(天下統一 “Tenka Toitsu”). Hideyoshi surveyed the area and yield of land throughout the country using a unified standard, and registered them with the names of cultivators in the kenchi (land survey) book. This is called **"Taiko-Kenchi**(太閤検地)". He also conducted **sword hunting**(刀狩 “Katanagari”), in which weapons were taken away from farmers and

others because they were thought to be a cause of revolts. The Taiko-kenchi and sword hunting promoted the separation of farmers and soldiers, and established a status system in which status and occupation were fixed.

Hideyoshi initially allowed the spread of Christianity, but in 1587, he ordered the expulsion of Christian missionaries from Japan and banned their spread, believing that their teachings would hinder the unification of the country. Hideyoshi also began planning to conquer Ming (China) around the time he had unified the nation. To this end, he first asked Joseon to submit to him and lead him to Ming Dynasty China, but Joseon refused, and he went to war against Joseon twice (during the Bunroku no Eki(文禄の役) and the Keicho no Eki(慶長の役)). However, the Joseon people's fierce resistance and reinforcements from the Ming led to bitter fighting, and with Hideyoshi's death in 1598, the entire army withdrew from the country.

第9回 织田信长和丰臣秀吉的天下统一（统一全国）

§1 引入枪炮和基督教

在日本的战国时代，随着欧洲进入了以贸易和基督教传教为目的的大航海时代，16世纪中叶日本也迎来了欧洲人的到访。1543年，漂流到九州南部种子岛（種子島）的葡萄牙人给日本带来了枪炮技术。枪炮技术受到了战国大名的关注，这极大的改变了他们的作战方式。同时，基督教也于1549年由方济·沙勿略传入日本。当时的基督教徒被称为吉利支丹，其中一些皈依基督教的大名被称为吉利支丹大名。

§2 织田信长和丰臣秀吉统一日本

16世纪后半期，在各地的战国大名中涌现了一些希望统一全国的人物。出身于尾张（今爱知县）的织田信长（織田信長），在桶狭间之战中大破极具实力的战国大名今川义元，后趁势前往京都，拥立足利义昭出任将军。但这之后，因与足利义昭对立激化，（织田信长）遂将足利义昭驱逐出京都，室町幕府统治自此灭亡。信长为与敌对的寺社势力（寺院与神社）相抗衡，对基督教进行保护，并且为了增强经济实力，废除城市间的关卡，推行（乐市·乐坐（楽市楽座））（乐是指自由化之意，坐则是指战国时代的工商业者或演艺人员所组成的工会，他们向朝廷、贵族或寺院支付金钱，以换取独家贩卖权。）的经济政策，使商人能够自由地通行及营业。很早就对枪炮技术有所关注的信长，依靠枪炮部队的强大威力消灭了武田氏，但就在统一全国积极在望的时刻，却被家臣明智光秀反叛进攻，（信长）战败而死。（史称本能寺之变）

继承信长事业的是身为家臣的丰臣秀吉（豊臣秀吉）。秀吉修筑了大阪城，并在1590年使全国的大名都服从于他，致使完成了全国统一。秀吉按照同样的标准对全国的土地面积和产量进行了调查，并将其与耕种者的名字一起登记在检地册上。这一举措称之为太阁检地（太閤檢地）。另外，考虑到会导致暴动的原因，实行收缴农民武器的刀狩政策。太阁检地和刀狩政策的实施，实现了兵农分离，使固定身份和职业的社会制度得以确立。

秀吉最初是准许基督教在日传教的，但意识到基督教的教义会对全国统一造成阻碍，遂于1587年下令将基督教传教士驱逐出境，并禁止其在国内传教。同时，秀吉在实现了统一全国之后，便开始了征服明朝（中国）的计划。为此，首先要求朝鲜对其服从并引导其进入明朝，这一要求遭到了拒绝，（秀吉）随即两次出兵朝鲜（万历朝鲜之役）（日称文禄之役、庆长（慶長）之役）。但由于朝鲜民众的顽强抵抗和明朝军队的驰援，使日军陷入苦战，1598年随着丰臣秀吉的离世，撤回了全部军队。

但由于朝鲜民众的顽强抵抗和明朝军队的驰援，使日军陷入苦战，1598年随着丰臣秀吉的离世，撤回了全部军队。